

会 習 学 沼 仙 気



ジオガイドの勘所は、皆さん掘めたいでしょうか？

7月に続いて11月7日（水）、気仙沼市唐桑半島の巨釜（おおがま）・折石（おれいし）、半造（はんぞう）で、ガイド学習会が開催されました。今回は、あいにくの雨模様でしたが、気仙沼のガイド、関係者をはじめ、他地域のガイドも駆けつけ、40名近くの方々が参加しました。

今回の講師は
お馴染みのこの方！！



東北大学名誉教授

えひろ まさゆき
永広 昌之 先生

今回の学習会は、巨釜・折石などに分布するおよそ二億五千万年前頃の石灰岩、それらが形づくる奇岩や地形のほかに、唐桑半島全体に残る、かつての海底が隆起してできた地形について、学術専門委員の永広 昌之、東北大学名誉教授に解説していただきました。

今回のガイド実演
はこの方！

唐桑町観光協会の
くまがい まる
熊谷 羊さん



ガイド実演していただきました。そうびきを

まずは、唐桑町観光協会熊谷羊さんに御崎八隻曳（おさきはつそうびき）を

次に、国立公園でもある唐桑半島の植生について、久保井 喬自然保護官に解説していただきました。広い三陸、南と北とでも植生に違いがあることを、落ちている枝葉を見せながら、判りやすく説明くださいました。



雨が降る中でしたが、普段通っている道路のある台地が、三十数万年前は海底だったと聞いた地元参加者は驚きを見せていました。



国立公園内の
ことはこの方！

環境省 自然保護官

くまがい まる
久保井 喬さん



参加者からは、「見慣れた景色を見直した」、「大きなスケールで地元を見ることが新鮮」、などの感想が寄せられました。講師の皆さまのおかげで、おおむね好評を得ることができた学習会でした。